

安芸高田市まちづくり助成金成果報告書

団体名：

やちよ食農キッズクラブ

団体紹介：

コミュニティーハウス「茶み菜（チャイナ）」を拠点に集まった地域内外の子どもたちが、食・農・自然の好循環を実践する体験型活動グループです。

主な活動内容は：

【有機再生農業体験】地域に密着した有機再生農業体験

【参加型キッズ食堂】子供たちが参画する職業体験型食堂

【体験学習寺子屋】暮らしの知恵を身につける実践学習

活動状況・実績：

当クラブは発足して以来、レギュラーメンバーが定期的集まり、合宿もしながら企画・準備をし、アウトプットとして計4回の地域オープンイベントを開催しました。

季節や伝統行事に合わせてテーマを決め、10月に「食農体験」、11月に「ピザ窯作り」、12月に「餅つき大会」、2月に「春節フェア」を行いました。



実施効果：

地域の小学校や保育園に参加募集チラシを配布し、定員いっぱいの親子が参加し、レギュラーキッズ、おとなスタッフ、そして外部講師も加え、数十名で一堂に会して、共にメイン行事をしながら地域や年齢関係なく和気あいあいに交流する機会となりました。クラブで体験した工作やワークショップを通して、自然素材を活かしたものづくりの楽しさを覚え、自宅でも再現して楽しんだりしているようで、創造の喜びを実感する良い種まきになったようです。

工夫したこと：

自然体験学習などを通して、遊びの中で心を豊かに育むことを趣旨にしていました。そのために、絵本や紙芝居、クイズ大会、ビンゴゲームなどもプログラムに組み込んで実施しました。不登校気味の中学生は、合宿参加後から学校に復帰し、親子間のコミュニケーションも改善したそうです。また、学習意欲が高まり、癖が改善されるなど、活動に参加した親子たちが心の充電を得たように、心豊かに過ごした後、それぞれの日常生活に戻り、嬉しい変化を実感し、保護者達も有意義な活動だと喜んでいました。

課題や展望：

- ・ イベント参加者がお手伝いスタッフとして実践体験する態勢作り。
- ・ 地域外の参加者を呼び込み、地域の資源を活かしたおもてなしをする企画の実施。